

法学委員会・心理学・教育学委員会合同 法と心理学分科会

第三回会議・議事録

文責：笹倉

■ 日時 2024年11月16日 14時30分～17時00分

- ・ 14時30分からは委員間の打ち合わせ
- ・ 15時からは唐沢かおり先生(東京大学)をお招きしての研究会議

■ 方法 ZOOMによるウェブ会議

■ 参加者(五十音順、敬称略)

対面参加

笠井修(中央大学、民法)、金澤真理(大阪公立大学、刑法・刑事政策)、笹倉香奈(甲南大学、刑事訴訟法)、豊崎七絵(九州大学、刑事訴訟法)、西 希代子(慶応大学、民法)、仲真紀子(理化学研究所、心理学)、松宮孝明(立命館大学、刑法)

オンライン参加

大江美佐里(久留米大学、精神医学)、川嶋四郎(同志社大学、民事訴訟法)、行場次朗(尚絅学院大学、心理学)

■ 欠席

土井政和(元九州大学、刑事政策)、平山真理(白鷗大学、刑事政策)

■ 議事概要

1. 開会、前回議事録の確認

笠井委員長より、冒頭のあいさつが行われ、本日の進行内容について、説明が行われた。前回議事録の確認が行われ、異議なく承認された。

2. 今後の活動について

笠井委員長より、委員へのアンケートを踏まえて、今期の統一的なテーマを「法実務と心理学」としたことが報告された。アンケートの結果、それぞれの委員の専門分野の中で、関連するテーマについての報告をしていただくことも可能そうである。

2026年9月が26期の任期満了となるので、再来年夏ころまでに一巡するように委員の中で報告をスケジューリングしていくこととなった。

今後、順番について相談することとする。

3. 分科会旅費の申請について

今回の旅費については、委員間での相談のうえ、金澤委員と松宮委員に支出することとした。今後については、また相談したい。

4. 話題提供ならびに質疑

唐沢かおり氏(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

「社会を描く心の働き:社会的判断の特性とそれが示す人間観」

唐沢かおり先生(東京大学)より、上記の演題に基づく話題提供が行われ、意見交換が行われた。

以上